

授業科目 臨床栄養学 III

【担当教員名】 永井 徹		対象学年	3	対象学科	健栄
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】 臨床栄養学 III は、臨床栄養学 I、II、臨床栄養学実習 I で学習してきた一連の科目の集大成と位置付けられる。 これまでに履修した臨床栄養学に関する科目すべてを理解し、傷病者に応じた栄養治療を提案できる能力を高める。					
【学習目標・行動目標：SB0】 傷病者の病態や特徴に基づいた適切な栄養管理を行うための栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する考え方を理解し、これまでの諸科目での学習や実習経験を生かして具体的な栄養治療・評価方法を身につける。 1. 主要な疾病に関して、医学的視点から基本的事項を説明できる。 2. 主要な疾病の予防および治療における臨床栄養学の意義を具体的に説明できる。 3. 臨床検査値について、その目的や意義の説明と結果の解釈、評価ができる。 4. ライフステージ別、疾患別に身体状況や栄養状態に応じた具体的な栄養管理方法を立案できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	各疾患最新治療ガイド改定内容 1				講義と解説
2	各疾患最新治療ガイド改定内容 2				講義と解説
3	外科疾患 1（術前・術後の栄養管理）				講義
4	外科疾患 2（術前・術後の栄養管理）				講義
5	がんの栄養管理 1				講義
6	がんの栄養管理 2				講義
7	クリティカル・ケア				講義
8	褥瘡の栄養管理				講義
9	摂食機能障害				講義
10	乳幼児、小児疾患の栄養管理				講義
11	妊娠、授乳期疾患の栄養管理				講義
12	高齢者疾患の栄養管理（サルコペニアの対応）				講義
13	経静脈栄養管理の選択				講義
14	病態栄養療法と栄養カウンセリング				講義
15	まとめ				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床栄養学	中村丁次、小松龍史 他	南江堂	2014・3,800 円＋税
参考書		改訂第 4 版病態栄養ガイドブック	日本病態栄養学会	メディカルレビュー社	2013・3,500 円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、定期試験より評価		【履修上の留意点】 各疾患の診断・治療および栄養評価と栄養療法について復習しておく。			